

憲法しんぶん速報版

発行 憲法改悪阻止各界連絡会議（憲法会議）

Tel 03-3261-9007

Fax 03-3261-5453

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jpHPサイト <http://www.kenpoukaigi.gr.jp/>**明日27日、「海外派兵・武力行使恒久法」各界懇談会！****小林武・愛知大学教授が高裁判決の歴史的意義について講演**

与党が PT を設置し、法案要綱作りに向け急速に動きを強めるなか、明日、憲法会議と安保破棄中央実行委員会の呼びかけで各界懇談会が予定され、期待が高まっています。懇談会では、小林武・愛知大学教授が「名古屋高裁判決の歴史的意義」について問題提起を行い、情勢の意見交換や緊急のアピール等、運動について話し合われることになっています。多数のご参加を呼びかけます。

- 日時 2008年 5月 27日（火） 午後6時～8時半 全労連会議室
- 懇談会の内容
 - 座長 あいさつ 川村 俊夫さん（憲法会議代表幹事）
 - 名古屋高裁判決の歴史的な意義について 小林 武さん（愛知大学教授）
 - 国会情勢報告 井上 哲士さん（日本共産党参議院議員）
 - 懇談
 - 1、問題提起 1) 安保破棄中央実行委員会 2) 憲法会議
 - 2、各界のみなさんからのご発言
 - アピールの提案について
 - 閉会 あいさつ 柴田真佐子さん（安保破棄中央実行委員会常任幹事）

★ 資料 小林武さんの講演「高裁判決の歴史的意義」の柱

- I イラク派兵は違憲、平和的生存権は裁判規範
 - 1 判断の中心点
 - 2 恵庭事件判決(1967年)、長沼訴訟福島判決(1973年)以来の歴史の中で
- II 「傍論」中の違憲判断を非難する政府の暴論
 - 1 政府の判決対応の際だった特徴——手続的論点に非難を集中
 - 2 傍論中の違憲判断には拘束力がないとする論理
 - 3 国側に上告の機会を与えよとの主張——法改正論まで
 - 4 違憲審査の権限を最高裁に集中させる提案、さらには違憲審査制そのものへの疑問提示
- III 政府が本来なすべきこと
 - 1 空自のイラクからの即時撤退
 - 2 派兵恒久法の立法作業の中止
- IV 違憲判決の影響とこれをもたらしたもの
 - 1 憲法の生命力を示す
 - 2 民衆が押し出した違憲判決